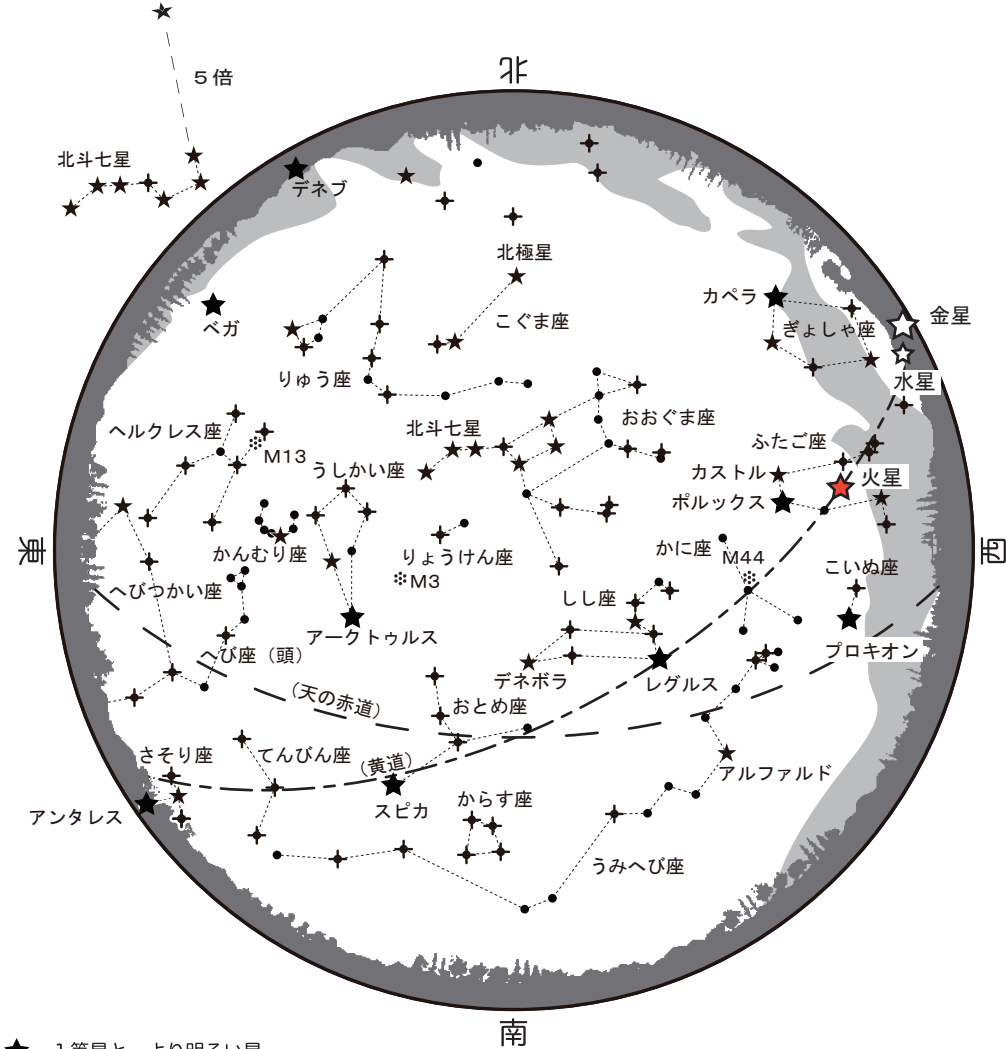


富山で見える 2021年5月の星空

北極星の見つけ方 自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見よう。

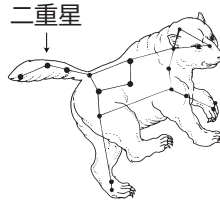


- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ⊛ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

～この星空が見えるのは～
 5月 5日 午後9時ころ
 5月 20日 午後8時ころ
 6月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

5月 4日 下弦 (☾)
 5月 12日 新月 (●)
 5月 20日 上弦 (☽)
 5月 26日 満月 (○)



おおぐま座

北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形の「北斗七星」がある星座です。北斗七星は、おおぐまのおしりからしっぽの部分になります。ひしゃくの柄の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、肉眼でも分かる二重星です。



うしかい座

とても明るく輝くオレンジ色の星アークトゥルスが目印の星座です。この星には「熊の番人」という意味があり、明るさは0等星です。日本では「麦星」と呼んでいたところもあります。隣のりょうけん座は、この牛飼いの飼っている犬です。



おとめ座

青白く輝く1等星のスピカがある星座です。この星座は農業の女神デーメーテルの姿とも言われ、左手に麦の穂を持っています。そこに輝いているのがスピカで、とがった麦の穂の先という意味があります。



からす座

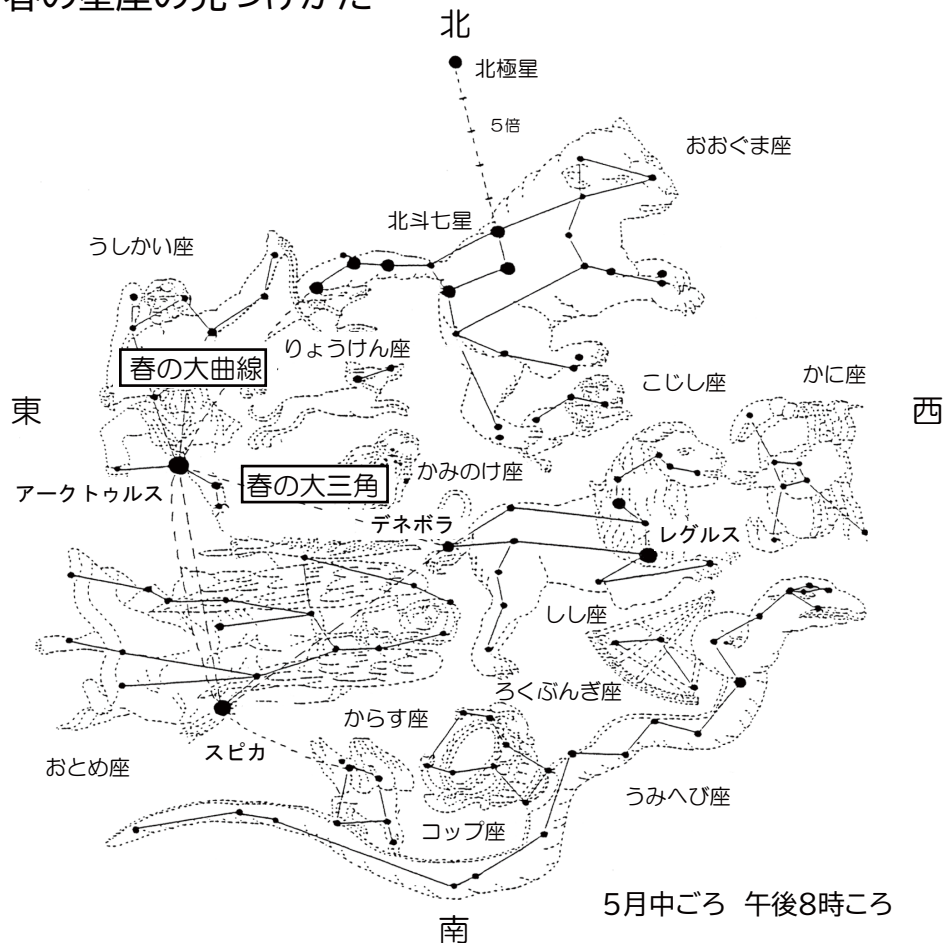
暗めの星4つが作る小さな四角形の星座です。ギリシャ神話では、黒いカラスが銀のクギで夜空にはりつけにされており、4つの星はそのクギであるとされています。日本では船の帆の形に見たてて「帆かけ星」と呼んだところがあります。



うみへび座

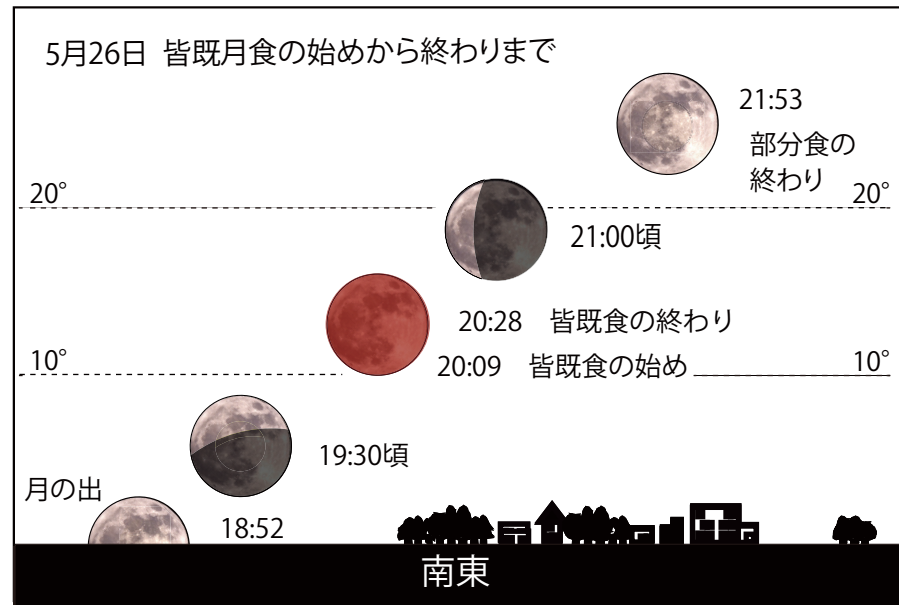
かに座の南に頭があり、暗い星を東へずっとたどって長いへびの形を作ります。88個の星座の中で最も大きな星座で、神話ではヘラクレスに退治された怪物ヒドラです。うみへび座の背中には、からす座が乗っています。

春の星座の見つけかた



- 1 北の空で、北斗七星を見つけます。
- 2 北斗七星の柄のカーブを伸ばし、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座と続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アークトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 デネボラの西側に、明るく輝くしし座のレグルスを見つけます。
- 5 星座の中で最も大きいうみへび座、2番目に大きいおとめ座、3番目に大きいおおぐま座を見つけてみましょう。

5月26日(水) スーパー月の皆既月食



5月26日は、今年最も地球に近づいて大きく見える満月（スーパーマン）の日。またこの日、日本全国で皆既月食となります。富山では欠けた状態の月が東の地平線から昇ってくる「月出帯食」となって見えます。

月食は、月が地球の影に入り込むことで起こります。古代ギリシャの科学者は、月食のときに月にかかる地球の影の形から、地球が丸いことを知っていたそうです。

月食では、月の色に注目してみてください。部分月食のときには灰色だった月が、皆既月食になると真っ暗になって見えなくなるのではなく、ほのかに赤く光って見えます。今回の皆既の継続時間は約19分間。さそり座の赤っぽい1等星アンタレスが近くに輝いています。

